

安全データシート

改訂日: 2022年2月7日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

整理番号

くえん酸(無水)

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

GC0022

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

急性毒性(経口): 区分5(UN)

なし

警告

飲み込むと有害のおそれ

【安全対策】

【応急措置】

気分が悪い時は医師に連絡すること。

【保管】

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

可燃性がある。(ICSC)

粉末や顆粒状で空気と混合すると粉じん爆発の可能性がある。(ICSC)

眼/呼吸器及び皮膚を刺激する。(EUDSD分類)

GHS分類に該当しない他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化学物質

くえん酸(無水)

—

 $\text{HOOCCH}_2\text{C}(\text{OH})(\text{COOH})\text{CH}_2\text{COOH}$

CAS RN: 77-92-9

99.5%以上

(2)-1318

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

新鮮な空気のところに移動させる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚への刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。

数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズを外して)、医師の診断/手当てを受ける。

口をすすぐ。多量の水を飲ませる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

〔吸入〕咳、息切れ、咽頭痛

〔皮膚〕発赤

〔眼〕発赤、痛み

〔経口摂取〕腹痛、咽頭痛

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

水噴霧/泡消火薬剤/粉末消火薬剤/二酸化炭素

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 こぼれた物質を容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合が粉じんを避ける為に湿らせてから掃き入れる。 残留分を多量の水で洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 みだりにエアロゾル／粉じんが発生しない様に取扱う。 裸火禁止。 強酸化剤、強塩基、金属硝酸塩、金属から離しておく。
接触回避	
保管	
技術的対策	乾燥した場所で保管する。
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。 該当情報なし。
保護具	粉じんマスクを着用する。(有害粒子用P2フィルターマスク)
呼吸用保護具	ゴム手袋を着用する。
手の保護具	ゴーグルを着用する。
眼の保護具	作業着を着用する。
皮膚及び身体の保護具	
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	無色の結晶
臭い	無臭
融点/凝固点	153℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	燃焼性がある。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	0.28～2.29 vol%(空气中)
引火点	100℃
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	175℃
pH	水溶液は酸性を示す。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	59g/100mL(20℃)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow(オクタノール/水分配係数): -1.7
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱いにて安定。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光／熱／粉じんの発生／混触危険物質との接触
混触危険物質	強酸化剤、強塩基、金属硝酸塩、金属
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口-ラットLD50が3000mg/kgであることから経口は区分5とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	EUDSD分類がR-Phrase37/38でありGHS分類の区分2又は3に相当するが、分類の根拠となる他の情報が入手できない為、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼を刺激するという情報があるが、根拠となる実験データが入手できない為、分類できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		ラットのNOAELは2500mg/kg/日であり生殖毒性はないと考えられる。(SIDS)(分類できない)
発がん性		日本産業衛生学会/ACGIH/IARC/NTPで掲載なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		歯に影響を与え、歯牙酸蝕を生じることがあるが(ICSC)、分類の根拠となる他の情報が入手できない為、分類できないとした。
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	淡水魚/ミジンコ/藻類に対して、また試験された少数の海洋生物種に対して急性毒性は低く、長期試験も同等の結果を示した。また、プロトゾアと活性汚泥部生物を含めた多くの種及び系統の最近に対して、明白な毒性の可能性を持たない。(SIAP)
	長期:	排水処理上ならびに地表水中と土壤中で速やかに分解される。(SIAP) 排水処理上ならびに地表水中と土壤中で速やかに分解される。(SIAP) 該当情報なし。 物理化学的特性に起因して環境中の移動性は高く、水区画に分布する。(SIAP) 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
残留性・分解性		
生体蓄積性		
土壤中の移動性		
オゾン層への有害性		
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
海洋汚染防止法		有害である物質(施行令別表1)
16. その他の情報		
引用文献		国際化学物質安全性カード(ICSC) 16615の化学商品(化学工業日報社) OECD:HPV-SIAP日本語訳(SIAP) 製品評価技術基盤機構HP(NITE) 政府向けGHS分類ガイダンス 経済産業省HP The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vol.1 化学品の分類及び表示に関する世界中和システム(化学工業日報社) GHS Q&A 実務者の為のガイドブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。